

## 平成27年6月30日 会頭記者会見 発言要旨

### 時事の話題

京都市が先日、2014年の市内観光客数が2年連続で過去最多を更新したと発表した。外国人観光客の大幅な伸びが数字を押し上げたものと思われる。一方、宿泊客も過去最高を記録したものの伸び率は2.5%にとどまっている。外国人宿泊者数の伸びに比べ、日本人の宿泊者数が伸びていない現状もあり、宿泊施設の供給が観光客の増加に追い付いていないようだ。ホテルに比べ、旅館はまだまだ宿泊客の受け入れの余地がある。今まで積極的にアピールしてこなかった街中の「温泉」をはじめ、利用しやすい環境整備に向けたソフト・ハード面での支援など、旅館における新たな京都観光の打ち出しについても働きかけていきたい。本所では、この7月に「京の朝ツアーリズム研究会」を創設することとした。年内にも京都らしい朝の楽しみ方をいろいろな角度から検討し、本所独自の観光客に向けた「京の朝ツアーリズムコース」などを提案していきたい。

4～6月期の京都企業の経済動向調査をとりまとめた。国内景気は、3期ぶりにプラスに転じ、前期から大幅な回復を見せた。今後も上昇を見込んでおり、景気拡大への期待がうかがえる。一方、今期の自社業況は、春の需要期にあたる旅館・ホテル、運輸・倉庫業、小売業等の観光関連産業が大幅に上昇に転じたものの、製造業の一部や建設業において下降が続いた結果、全体のBSI値はマイナスとなり、依然として低迷の域を脱していない。7～9月期も幅広い業種で下降が続くが、秋の需要期となる10～12月期には全業種で上昇すると予想しており、業況回復への期待感を示している。付帯調査では賃金動向について調査を行った。1年前の調査に比べて、賃上げを実施した企業が10.5ポイント低下した。自社の業況が賃金改定を判断する最大の要因と位置づけられている中で、円安の影響によるコスト高や電気料金値上げ等により、収益が圧迫された状況が続いてきたことが、いわゆる業績の先行き不安のため、賃上げの広がりにも力強さを欠くことにつながったものと思う。経済好循環の実現には、好調な大手企業でみられる収益改善と賃上げの流れを中堅・中小企業にまで波及させることが重要である。新たな成長戦略が閣議決定されるが、地域の活力と雇用を担う中堅・中小企業の競争力強化に向けて、政府には戦略の早期具体化を期待したい。

### 京都商工会議所の動き

#### ■会頭ミッションについて

6月6日から9日間の日程で派遣した会頭ミッションには36名が参加した。ミラノでは、ミラノ万博の日本館において、オール京都で和食をアピールするイベントである「京都ウィーク」のオープニングセレモニーや、現地の政財界の皆さんを招待したレセプションに参加した。世界的に和食に対する関心が高まっており、これを機に、和食をはじめとする日本文化を世界の人々に知っていただくことにつながればと思う。フィレンツェでは京都市とフィレンツェ市の姉妹都市提携50周年の式典に参加したほか、本所とフィレンツェ商工会議所の友好協定締結10周年にあたり表敬訪問をした。全体としては、ミラノ、フィレンツェでは、京都府、京都市と産業界が一体となって、和食をはじめとする京都の文化や産業を現地でアピール出来たことが大きな成果だったと考えている。

ポーランドのクラクフは、ポーランドの京都とも呼ばれている。旧市街は車両の乗り入れが規制され、タクシーの代わりに馬車やカートが利用されている。世界遺産のアウシュビッツ・ビルケナウ収容所も訪問したが、世界中から多くの観光客が訪れていた。街の保全や交通問題、観光地の運営など、京都としても参考になる都市の視察だったと思う。

## ■輝く女性応援京商会議・女性が輝く企業シンポジウムについて

女性の持つ柔軟性や多様な価値観を、企業の成長や地域の活性化に活かしていこうとする機運が高まりつつある。今年3月にオール京都体制で女性活躍を促進する「輝く女性応援京都会議」が設立されたが、本所においても正副会頭等で「輝く女性応援京商会議」をこの5月に設置し、積極的に企業での女性の活躍促進・登用拡大を応援することとした。

その初めての取り組みとして、「女性が輝く企業シンポジウム」を開催する。今回のシンポジウムを契機に、企業活動のなかで女性の持つ潜在的な能力を引き出し、女性が生き活きと活躍することで企業の成長に繋げていけるような取り組みが広がればと考えており、企業経営者や経営幹部、人事関係の方にはぜひとも参加していただきたい。

## ■販路開拓の取り組みについて

本所では、バイヤーが求める商品情報と売り手企業の提供商品情報をつきあわせる「事前マッチング型」の商談会を昨年1度開催したが、今年度から中小企業の継続的な販路開拓を支援するために、8月から原則毎月開催することとなった。バイヤーに幅広い分野の方々を招聘し、販路開拓の多様な選択肢を売り手企業に提供していく。また、販路開拓支援セミナーを開催するなど、商談会に向けた事前事後の支援にも取り組み、商談成約率の向上に努めたい。

また、首都圏における販路開拓支援事業としてオール京都で初めて実施する「京都知恵産業フェア」は出展者募集を締め切り、B to Bの展示商談会には144社、B to Cの展示販売会には93社の応募を頂戴した。審査を経て7月上旬には出展者を確定する予定である。今後は、出展者を対象にした説明会を開催し、商談成果につながるよう事前準備のサポートを始める一方、首都圏のバイヤーやメディアに対しては、広く広報を行っていく。

本所としては、販路開拓のサポートを通じて、しっかりと成果をあげていくことで、成長志向の京都企業の更なる創出を図っていききたい。今年度も「知恵ビジネスプランコンテスト」を実施し、9月29日から応募を受け付ける。知恵の連鎖に向けて新たな企業の発掘に努めていきたい。

## 記者からの質問事項

### ■日本経済が回復に向いつつある中で、今回のギリシャ問題をどのように受け止めているか。

また、京都企業への影響についてお聞きしたい。

日経平均株価が大幅に下がるなど、警戒感が一段と強まっている。世界経済を揺るがす事態になる可能性もあることから、まずは今後の推移を見守りたい。債務不履行になれば、金融的あるいは政治的に不安定になる恐れがある。まずは、欧州全体の金融安定に向けて、全力を注いでもらいたい。欧州の中でもギリシャ市場はそれほど大きくないので、日本経済への影響については少ないだろう。したがって京都企業への直接的な影響はあまりないと思うが、当面は株価や為替の変動への柔軟な対応が企業に求められている。また、中国の株価も急落しているようだ。多くの中国人観光客が京都を訪れ、観光消費を支えている一面もある。中国に進出する京都企業も多いことから、今後の中国経済についても注視していく必要がある。

### ■朝型観光は欧米の観光客に好まれると思うが、ギリシャ問題が長期化し、ユーロ安が続けば、京都を訪れる欧米の観光客が減少し、京商の新たな取り組みに水を差すことにつながると思うが、どうお考えか。

債務不履行が現実のものになれば、為替や株価に大きな影響が出ると思う。もう少し推移を見守る必要があると思うが、朝型観光は必ずしも欧米だけでなくアジアからの観光客も対象にしており、観光客の減少につながるとは思っていない。今後の動向を注視していきたい。

■「輝く女性」とはどういう人のことか。また企業で活躍する女性がなかなか増えない理由はどこにあると思うか。

輝く女性の定義はいろいろあると思うが、企業や社会のなかで、立派に仕事に取り組まれている女性のことであると思う。

なかなか活躍できないという点については、今回設立した「京商会議」あるいは行政等と一体となっている「京都会議」において、課題を見つけ、その解決・改善に向けて具体的な対応策を考えていきたい。

■自民党の若手勉強会の中で、「マスコミを懲らしめる」という発言があったが、経済団体としてこの発言をどう受け止めているか。

民主主義の中で自由な発言が許されるとはいえ、あつてはならない発言だったと思う。

■経営経済動向調査について、「低迷を脱したい」という話と、今後の「期待が高い」という話があったが、現在の景況について会頭の率直な感想を伺いたい。

消費マインドが期待した以上に回復していない。また、中小企業においては円安による原材料高や電気料金の値上げ等への対応策が追いついていないようだ。消費税率が10%に増税されるまでに景況感をより良くするためにも、持続的な成長を実現するような成長戦略の実行を強く望んでいる。

以 上

## 「京の朝ツーリズム研究会」の設置について

## ○設置目的

宿泊客増加に向けた朝型観光については、昨年京都市が策定した「京都観光振興計画 2020」においても「朝観光の推進」が施策のひとつに位置づけられるとともに、去る3月に実施された京都市観光協会「京の冬の旅」コースにも試行的に盛り込まれるなど、これからの新しい旅行者を開拓していくうえで非常に注目されている部分である。

素泊まり客が夕食選定を楽しむように、朝の自由な過ごし方を選ぶ楽しさを旅行(宿泊)の付加価値とする朝型観光について、京商のネットワークなどを活かすとともに、会員企業等との連携や文化施設、体験型コースの設定などを研究することで、「朝」、「京都」でないと体験できない、有意義な過ごし方を提案する。

## ○研究会

主管:本所観光産業特別委員会

メンバー案:

(順不同・敬称略)

京都嵯峨芸術大学 芸術学部 デザイン学科 教授 坂上 英彦  
株式会社日商社 代表取締役社長 谷川 隆※  
株式会社JTB西日本京都支店 取締役支店長 杉本 健次※  
株式会社リーフ・パブリケーションズ 代表取締役社長 中西 真也※  
日本ホテル協会京都支部 事務局長 斉藤 剛  
京都府旅館ホテル生活衛生同業組合※  
一般財団法人京都ユースホステル協会 事業部長兼所長 佐藤 隆芳  
京都商工会議所 専務理事 奥原 恒興  
※印・・本所観光産業特別委員会 委員

## ○検討スケジュール (案)

第1回研究会(7月8日) 朝型観光の現状調査・把握等

↓

2~3回程度 委員会で検討

↓

朝型観光コースについての発表会の開催

↓

京都市観光協会はじめ関係団体へ提案・連携

## 要約 京都の経営経済動向調査結果 (2015. 6. 30)

－2015年4～6月期実績と2015年7～9月期及び2015年10～12月期予想－

京 都 商 工 会 議 所  
担当：中小企業経営支援センター  
電話 (075) 2 1 2-6 4 6 7

### 国内景気が大幅に回復、先行きにも期待感 ～自社業況は改善するも未だ低迷～

#### 概 要

今期の国内景気BSI値は、3期ぶりにプラスに転じ、前期から大幅な回復を見せた。今後の7～9月期、10～12月期とも上昇を見込んでおり、景気拡大の持続期待がうかがえる。

今期の自社業況は、春の需要期にあたる旅館・ホテル、運輸・倉庫業、小売業等の観光関連産業が大幅に上昇に転じたものの、製造業の一部や建設業において下降が続いた結果、全体ではBSI値はマイナスとなり、依然低迷の域を脱し得ない。続く7～9月期も幅広い業種で下降が続くが、秋の需要期となる10～12月期には全業種で上昇すると予想しており、業況回復への期待感を示している。

(注) 5月の中旬から下旬にかけて同調査を実施し、573社中444社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店などを持つ企業)。また4～6月期のBSI値は、2015年1～3月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

#### I 国内景気動向

2015年4月～6月期は、「上昇」とした企業31.9%、「下降」とした企業10.4%、BSI値10.8(前期実績▲5.1)と大きく上昇に転じた。先行き見通しは、7月～9月期に6.4、続く10～12月期も12.6と上昇傾向となっている。

#### II 企業経営動向

自社業況(総合判断) 2015年4月～6月期は、「上昇」とした企業26.7%、「下降」とした企業29.3%、BSI値▲1.3(前期実績▲9.5)とわずかに下降したものの、前期に比し改善が見られる。今後の7月～9月期も▲1.3と下降が続くが、10～12月期は10.4と大幅に改善する見通しとなっている。

1. 生産・売上高、工事施工高 2015年4月～6月期は、「増加」28.1%、「減少」29.4%、BSI値▲0.6(前期実績▲10.4)とほぼ横ばいとなった。今後の7月～9月期は2.0とやや増加し、続く10～12月期は12.1と大きく増加すると予想している。

2. 製・商品・サービス・請負価格 2015年4月～6月期の製品価格、商品価格、サービス価格、建設業請負価格を総合的に見ると、「上昇」15.7%、「下降」8.0%、BSI値3.9(前期実績▲0.5)と上昇した。今後の7月～9月期は1.6、10～12月期は5.1と上昇基調で推移する見通しとなっている。

3. 経常利益 2015年4月～6月期は、「増加」23.6%、「減少」32.0%、BSI値▲4.2（前期実績▲10.4）と前期に続き減少した。今後の7月～9月期は▲0.6と、ほぼ横ばいで推移し、続く10～12月期には8.3と上昇に転じると予想。
4. 所定外労働時間 2015年4月～6月期は、BSI値▲2.0（前期実績▲3.6）と前期に続き減少。今後の7月～9月期も▲1.4と減少傾向が続くものの、10～12月期は7.9と増加に転じる見通し。
5. 製・商品在庫 2015年4月～6月期は、「適正」とする企業が78.8%、「過剰」とする企業が18.1%、「不足」とする企業が3.1%、BSI値7.5（前期実績6.6）と概ね適正水準で推移したが、前期に続き一部に過剰感が見られている。今後の7月～9月期は「適正」が84.1%、10～12月期は85.8%と、徐々に改善していくと予想する。
6. 資金繰り 2015年4月～6月期は、「改善」とする企業12.3%、「不変」とする企業が74.1%、「悪化」とする企業が13.6%、BSI値▲0.6（前期実績▲4.8）とほぼ横ばいで推移した。今後の7月～9月期は▲2.7とやや悪化するものの、10～12月期は1.6と改善する見通しとなっている。

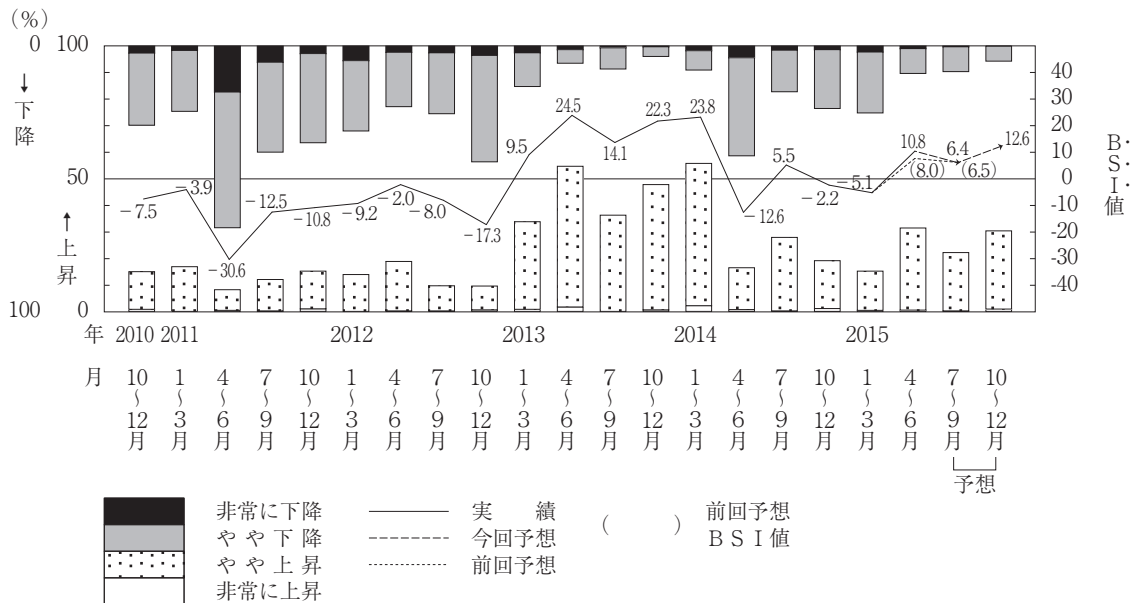
### Ⅲ 当面の経営上の問題点

第1位は、「受注・売上げ不振」（47.7%）、第2位は「原材（燃）料高」（33.6%）、第3位は「過当競争」（22.7%）、そして前回調査で5位の「求人難」（20.5%）が第4位に続き、代わって第5位には前回4位の「製・商品（請負）価格安」が続く結果となった。

B. S. I. 値の総括表		実 績		予 想	
		2015年1～3月期	2015年4～6月期	2015年7～9月期	2015年10～12月期
国内景気動向		▲ 5.1	10.8	6.4	12.6
京都企業の経営動向	自社業況（総合判断）	▲ 9.5	▲ 1.3	▲ 1.3	10.4
	1. 生産・売上高、工事施工高	▲ 10.4	▲ 0.6	2.0	12.1
	2. 製・商品・サービス・請負価格	▲ 0.5	3.9	1.6	5.1
	3. 経常利益	▲ 10.4	▲ 4.2	▲ 0.6	8.3
	4. 所定外労働時間	▲ 3.6	▲ 2.0	▲ 1.4	7.9
	5. 製・商品在庫	6.6	7.5	6.6	4.7
	6. 資金繰り	▲ 4.8	▲ 0.6	▲ 2.7	1.6

※ B. S. I. 値 = (上昇 [増加、他] - 下降 [減少、他]) ×  $\frac{1}{2}$

# I 国内景気動向



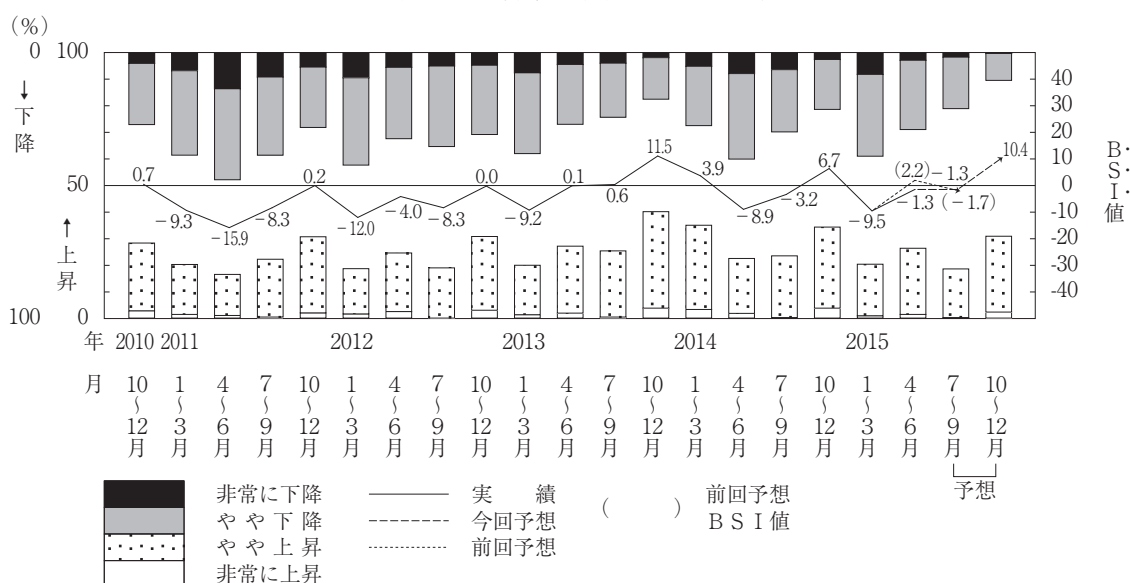
2015年4月～6月期は、「上昇」とした企業31.9%、「下降」とした企業10.4%、B.S.I.値10.8（前期実績▲5.1）と上昇に転じた。先行き見通しでは、7月～9月期に6.4、続く10～12月期も12.6と着実に上昇が続く見込みとなっている。

国内景気		実 績			予 想					
		2015年4～6月期			2015年7～9月期			2015年10～12月期		
		B.S.I.値	上 昇	下 降	B.S.I.値	上 昇	下 降	B.S.I.値	上 昇	下 降
総 計		10.8	31.9	10.4	6.4	22.5	9.7	12.6	30.8	5.7
規模別	大 企 業	14.3	35.4	6.9	11.4	25.0	2.3	11.5	28.6	5.6
	中 小 企 業	9.3	30.3	11.8	4.4	21.5	12.8	13.0	31.7	5.8
業 種 別	製 造 業	10.3	29.5	9.0	7.1	23.8	9.6	12.6	31.2	6.0
	卸 売 業	3.4	30.5	23.7	8.5	28.8	11.9	14.4	40.7	11.9
	小 売 業	25.0	55.0	5.0	10.5	26.3	5.3	18.4	36.8	0.0
	建 設 業	12.9	35.5	9.7	6.5	19.4	6.5	16.2	32.3	0.0
	不 動 産 業	6.3	25.0	12.5	3.1	12.5	6.3	6.3	18.8	6.3
	運 輸 ・ 倉 庫 業	14.8	33.3	3.7	5.6	25.9	14.8	11.1	22.2	0.0
	サ ー ビ ス 業	13.1	33.3	7.2	2.2	14.5	10.1	9.6	25.0	5.9

## II 企業経営動向

### 自社業況（総合判断）

※ 自社業況（総合判断）は、以下に続く「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したものの。



2015年4月～6月期は、「上昇」とした企業26.7%、「下降」とした企業29.3%、BSI値▲1.3（前期実績▲9.5）とわずかに下降した。今後の7月～9月期も▲1.3と下降が続くが、10～12月期は10.4と大きく回復する見通しとなっている。

**業種別** 4月～6月期のBSI値は、旅館・ホテル（26.5）、運輸・倉庫業（18.0）、食料品卸（13.4）、食料品製造（11.6）などで上昇し、その他製造業（▲21.5）、非鉄（▲21.1）、建設業（▲15.0）などで下降した。今後の7月～9月期は、化学・ゴム（12.5）、その他製造業（10.8）、電気機械製造（7.4）など一部では改善を見込むものの、染色（▲31.8）、鉄鋼（▲21.4）、繊維製品製造（▲16.7）、食料品製造（▲5.8）などが悪化の見通し。続く10～12月期は、出版・印刷（27.8）、旅館・ホテル（23.5）、食料品製造（21.2）などで上昇し、鉄鋼（▲14.3）、木材・木製品製造（▲11.1）、窯業・土石（▲7.2）などで下降すると予想。

**規模別** 4月～6月期のBSI値は、大企業（▲3.6）、中小企業（▲0.4）ともに下降した。今後の7月～9月期は、大企業（7.6）が上昇に転じ、中小企業（▲4.9）は引き続き下降の見込み、10～12月期では大企業（11.0）はさらに上昇し、中小企業（10.2）も大きく上昇に転じる見通し。

自社業況 (総合判断)	実績			予想						
	2015年4～6月期			2015年7～9月期			2015年10～12月期			
	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	
総計	▲1.3	26.7	29.3	▲1.3	18.8	21.3	10.4	31.3	10.5	
規模別	大企業	▲3.6	24.4	31.5	7.6	28.8	13.6	11.0	32.5	10.6
	中小企業	▲0.4	27.7	28.4	▲4.9	14.7	24.5	10.2	30.9	10.5
業種別	製造業	▲3.7	22.9	30.2	▲0.4	20.8	21.7	9.1	28.8	10.7
	卸売業	▲4.3	28.8	37.3	0.0	18.6	18.6	7.6	28.8	13.6
	小売業	10.0	40.0	20.0	▲5.3	5.3	15.8	23.7	47.4	0.0
	建設業	▲15.0	20.0	50.0	▲3.3	16.7	23.3	10.0	30.0	10.0
	不動産業	▲3.4	13.3	20.0	▲3.3	6.7	13.3	6.7	20.0	6.7
	運輸・倉庫業	18.0	40.0	4.0	4.0	16.0	8.0	22.0	44.0	0.0
	サービス業	5.4	34.9	24.2	▲4.6	21.2	30.3	10.0	35.4	15.4



## <経営経済動向調査付帯調査>

# 賃金動向について

京都商工会議所では、昨年度及び今年度の賃金動向について、経営経済動向調査に付帯して調査を実施し、以下のとおり取りまとめた。

## 1. 調査概要

調査時期：平成27年5月11日～5月22日

調査内容：今年度の賃金動向

調査対象：京都府内に本社・本店を有する企業573社

回答企業数：427社（回答率74.5%）

調査方法：郵送によるアンケート方式（第172回経営経済動向調査の一部として実施）

## 2. 調査結果の概要

### ○今年度の賃金について

- ・今年度にベースアップを実施したと回答した企業は26.9%、賞与等の一時金を増額したと回答した企業は12.2%、ベースアップと一時金の増額両方を実施したと回答した企業は6.1%となり、賃金引き上げを実施した企業は合わせて45.2%だった。

今年度の賃金は現状維持と回答した企業が50.1%を占めている。また、賃金を引き下げたと回答した企業は0.5%だった。

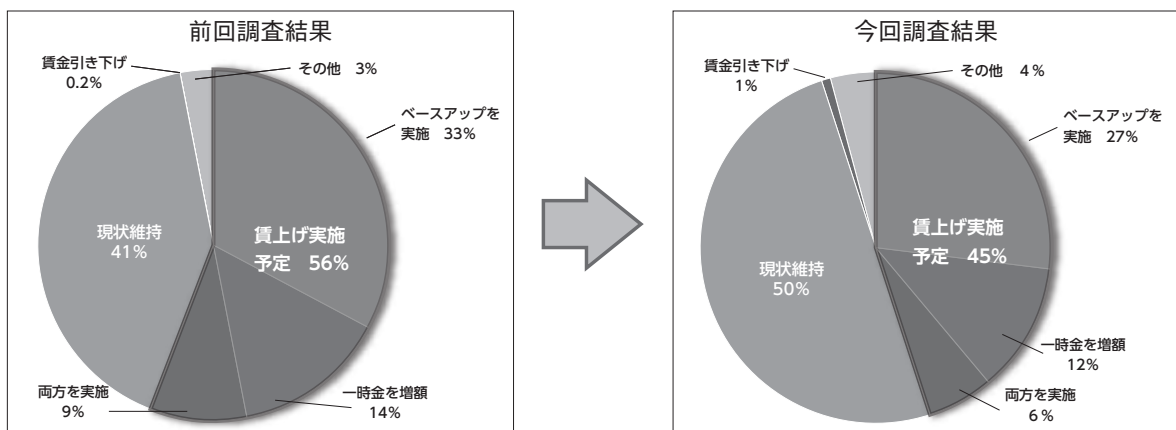
- ・賃金引き上げを実施した企業の多い業種は、精密機械製造（87.5%）、料理・飲食（71.4%）、電気機械製造（67.9%）、運輸・倉庫業（65.4%）、機械金属卸（65.2%）において6割を超える結果となった。また企業の規模別で見ると、賃金引き上げを実施した企業は中小企業（42.6%）よりも大企業（51.2%）がやや多いという結果となった。

### ○賃金引き上げ（引き下げ）にあたり重視する要素について

- ・賃金改定にあたり重視する要素として「自社の業況」が、前回（平成26年6月）同様に最も多く、約80%の企業が回答した。

続いて、「従業員の能力評価」が31.6%、「雇用の維持」が22.5%、「労働力の確保」と「国内景気の先行き」が各18%であり、前回と比べ「国内景気の先行き」を挙げる企業の割合が低下した。また、「雇用の維持」を重視の要素として挙げる企業を規模別に見ると、大企業13.2%に対して中小企業は27.5%という結果となった。

## 3. 集計結果



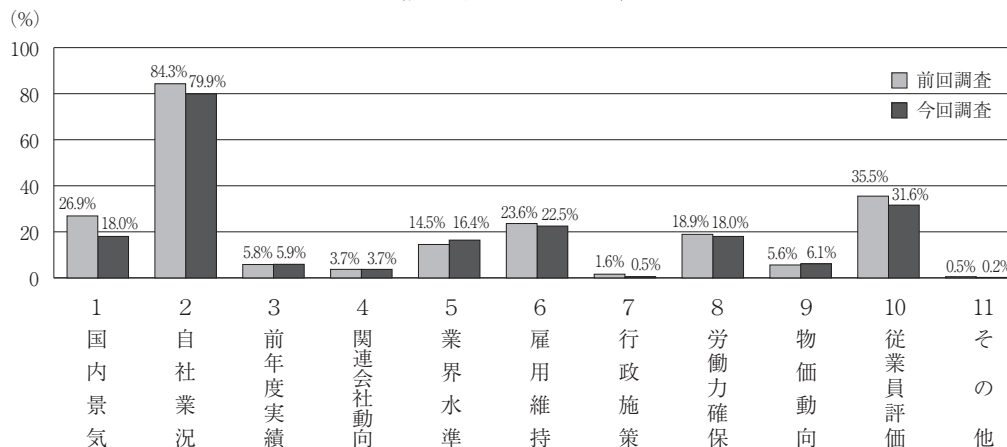
今年度		賃上げを実施			現状維持	賃金引き下げ	その他	計 ※有効回答数
		ベースアップを 実施	一時増 を	金額 両方を実施				
全業種	全体	115	52	26	214	2	18	427
		26.9%	12.2%	6.1%	50.1%	0.5%	4.2%	
		45.2%						
	大企業	34	18	14	53	1	9	129
		26.4%	14.0%	10.9%	41.1%	0.8%	7.0%	
		51.2%						
中小企業	81	34	12	161	1	9	298	
	27.2%	11.4%	4.0%	54.0%	0.3%	3.0%		
	42.6%							

【参考】 前回（平成26年度4～6月）調査結果

		賃上げを実施予定			現状維持	賃金引き下げ	その他	計
		ベースアップを 実施	一時増 を	金額 両方を実施				
全業種	全体	150	62	38	186	1	12	449
		33.4%	13.8%	8.5%	41.4%	0.2%	2.7%	
		55.7%						
	大企業	38	26	13	48	0	7	132
		28.8%	19.7%	9.8%	36.4%	0.0%	5.3%	
		58.3%						
中小企業	112	36	25	138	1	5	317	
	35.3%	11.4%	7.9%	43.5%	0.3%	1.6%		
	54.6%							

### 賃金引き上げ（引き下げ）に当たり重視する要素

（該当項目3つ以内）



#### 4. 賃金改定の理由等について（コメント、抜粋）

- ・社員のやる気をより一層引き出すため（化学・ゴム、建設業）
- ・自社の業績向上のため（一般機械製造、電気機械製造、精密機械製造、不動産業、運輸・倉庫業、旅館・ホテル、情報・事業サービス）
- ・雇用維持と、採用のため（精密機械製造、建設業）
- ・世間の状況と合わせるため（精密機械製造、その他製造業）
- ・従業員の能力評価、人事考査による（食料品卸、情報・事業サービス）
- ・現在交渉中（食料品卸）
- ・一律ではなく一部アップ（機械金属卸）
- ・昇格対象者を増やしたため（機械金属卸）
- ・パートのベースアップをしたため（小売業）

## 「輝く女性応援京商会議」の設置について

本所は会員企業等における女性の活躍促進・登用拡大を図るため、下記の通り推進組織を設置する。

□名称 「輝く女性応援京商会議」

□体制 構成メンバー：本所正副会頭、専務理事、常務理事

□活動内容

1. 企業等における行動計画策定の促進
2. 「輝く女性応援京商会議」、京都商工会議所女性会等との連携
3. その他

## 【平成27年度に実施する本所の主な女性活躍推進事業】

○女性が輝く企業シンポジウム <輝く女性応援京商会議主催>

- ・経営者や人事部向けのシンポジウム

○京商ビジネススクール

- ・女性管理職・従業員向けのセミナー

「女性営業職スキルアップセミナー」(11月10日)

「女性社員のためのリーダーシップ養成講座」(12月10日)

○会報等による啓発活動

- ・会報“女性が輝く京都企業”コーナーで企業の取り組み事例を紹介(年6回)
- ・本所ホームページによる啓発(各種施策の情報発信、女性登用の呼びかけ等)

○創業塾、創業支援セミナー、京商起業家倶楽部による女性起業家の支援

# 女性が輝く企業シンポジウム

## 概 要

【主催】 京都商工会議所

【主旨】 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の制定に向けた国の動きがある中、企業が今後、持続的な成長・発展を遂げるには、女性の活躍の重要度が益々高まると考えられる。こうした状況を踏まえ京都商工会議所では、「輝く女性応援京商会議」を平成27年5月に設置。今回初の事業として経営者や人事関係部署を対象とした「女性が輝く企業シンポジウム」を開催し、企業が積極的に女性の活躍推進に取り組む契機とする。

【開催日時】 平成27年7月23日（木） 14:00～17:00

【スケジュール】 14:00～ 開会  
14:10～15:30 ≪第1部≫ 基調講演  
15:40～17:00 ≪第2部≫ パネルディスカッション  
17:00～ 閉会

【会場】 からすま京都ホテル 瑞雲（3階） [京都市下京区烏丸通四条下ル]

【定数】 150名（予定）

【内容】 第1部 基調講演（約80分） / 第2部 パネルディスカッション（約80分）

### ≪第1部≫ 基調講演 「企業成長のカギは女性の活躍」

（約80分） 株式会社イー・ウーマン 代表取締役社長 佐々木 かをり 様

上智大学外国語学部卒業。2000年に（株）イー・ウーマンを設立、同年、働く女性の声を発信するサイト「イー・ウーマン」を開設。毎年夏には働く女性が全国・海外から集まる日本最大規模の「国際女性ビジネス会議」を開催しており、参加者満足度は99%を超える。今年は7月26日（日）開催！自身は2児の母でありながら、輝く女性の代表として活躍中。

### ≪第2部≫ パネルディスカッション「女性活躍推進で企業は更に成長する！」

（約80分） ◇パネリスト（順不同）

・オムロン パーソナル株式会社 代表取締役社長 久保 雅子 様

1982年、大手住宅メーカーに入社し、社内結婚を機に退職、再就職活動を経て、1992年にオムロン パーソナル入社。2015年にオムロングループ国内関係会社で初の女性社長就任。社会の人的課題の解決に取り組んでいる。

・株式会社堀場製作所 理事 野崎 治子 様

1978年、ホリバコミュニティ入社。1980年に株式会社堀場製作所に転籍し、人事教育部部長、管理本部人事担当副本部長を歴任。2014年より現職。社内の研修プログラム「HORIBA COLLEGE」の学長兼CSR担当。

・河市水産株式会社 管理担当 取締役 堀井 雅彦 様

1978年に入社し、1988年に営業部課長に昇格。2000年に人事部を新設し、男女が対等に働ける職場環境づくりに取り組んだ第一人者。同時に部長に就任。2008年には現職。

◇コーディネーター

京都府府民生活部男女共同参画監 大谷 学 様

以 上

京都商工会議所 主催

# 女性が輝く企業 シンポジウム

「明日へ! 未来へ!」  
つながる交流!

基調  
講演

株式会社  
イー・ウーマン  
代表取締役社長  
佐々木 かをり氏

経営者・人事部の皆さま! 今こそ企業に女性の輝きを...

H27. 7月23日(木) 14:00~17:00

場所: からすま京都ホテル 瑞雲(3F) 参加費: 無料

[京都市下京区烏丸通四条下ル]

企業の更なる成長に、欠かすことのできない女性の活躍。ぜひ、お誘い合わせの上、ご参加頂き、貴社での女性活躍推進に係る取組へのご参考にして頂ければ幸いです。



輝く女性を代表する一人!

14:00	【開会】
14:10 ~ 15:30	<p>【第1部 基調講演】 テーマ「<b>企業成長のカギは輝く女性</b>」 <b>株式会社イー・ウーマン 代表取締役社長 佐々木 かをり 氏</b></p> <p>上智大学外国語学部卒業。2000年に(株)イー・ウーマンを設立、同年、働く女性の声を発信するサイト「イー・ウーマン」を開設。毎年夏には働く女性が全国・海外から集まる日本最大規模の「国際女性ビジネス会議」を開催しており、参加者満足度は99%を超える。今年7月26日(日)開催!自身は2児の母でありながら、輝く女性の代表として活躍中。</p>
15:40 ~ 17:00	<p>【第2部 パネルディスカッション】 テーマ「<b>女性活躍推進で企業は更に成長する!</b>」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>オムロン パーソナル株式会社</b> 代表取締役社長 <b>久保 雅子 氏</b></p> <p>1982年、大手住宅メーカーに入社し、社内結婚を機に退職、再就職活動を経て、1992年にオムロン パーソナル入社。2015年にオムロングループ国内関係会社で初の女性社長就任。社会の人的課題の解決に取り組んでいる。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>河市水産株式会社</b> 管理担当取締役 <b>堀井 雅彦 氏</b></p> <p>1978年に入社し、1988年に営業部課長に昇格。2000年に人事部を新設し、男女が対等に働ける職場環境づくりに取り組んだ第一人者。同時に部長に就任。2008年には現職。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p><b>株式会社堀場製作所</b> 理事 <b>野崎 治子 氏</b></p> <p>1978年、ホリバコミュニティ入社。1980年に株式会社堀場製作所に転籍し、人事教育部部長、管理本部人事担当副本部長を歴任。2014年より現職。社内の研修プログラム「HORIBA COLLEGE」の学長兼CSR担当。</p> </div> <div style="margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>【コーディネーター】 京都府府民生活部 <b>男女共同参画監</b> 大谷 学 氏</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>パネリストは女性活躍推進に積極的に取り組まれている京都企業の皆さまです!</p> </div>

☆お申込みは、下記ご記入の上、7月15日(水)までにご返信ください。ご参加お待ちしております!

[お問合せ] 京都商工会議所 総務部 総務・人事担当 伊佐・荻野

TEL: 075-212-6403 E-mail:soumu@kyo.or.jp

FAX 075-255-1985

「女性が輝く企業シンポジウム」に参加します



会社名

役職・氏名

役職・氏名

TEL

FAX

E-mail

※ご記入頂きました個人情報等は本シンポジウムの実施運営、本所の各種事業の情報提供に利用することがあります。

## 事前マッチング型マンスリー商談会 開催概要

### (目 的)

本所会員企業の販路開拓支援として、大手流通業等バイヤーとの“商談の場”を提供します。あらかじめバイヤー側から求める商品情報と売り手側企業の提供商品情報をつきあわせる「事前マッチング型」を採用することで、商談のミスマッチを減らし、成約率の向上を図ります。今年度は8月を皮切りに原則毎月実施することで、継続的に販路開拓をサポートします。

### (年間予定)

開催日		商談分野	バイヤー企業
H27年 8月	3日(月)	食品・インテリア	高島屋京都店
		観光体験	ティー・ゲート(体験旅行会社)
	20日(木)	ファッション・食品・インテリア	名古屋三越(本社:名古屋市中区)
		食品	エース(高級スーパー)
9月	15日(火)	食品	藤井大丸
10月	22日(木)	食品	大近(高級スーパー)
11月	(調整中)	ファッション・食品・インテリア	百貨店(1社) 通販会社(1社)
12月	(調整中)	ファッション・食品・インテリア	有名婦人雑誌(2社程度)
H28年 1月	[(逆見本市型)京のイチ押し商品売り込み商談会を開催 ※裏面参照]		
2月	(調整中)	ファッション・食品・インテリア	社内販売(2社程度)
3月	(調整中)	食品・インテリア	ホテル(2社程度)

※11月から毎月複数社での商談会を開催。9月発表予定。

※上記以外に首都圏販路開拓支援事業(BtoB/ BtoC)として、京都知恵産業フェアを11月5～8日に実施

(会 場) 京都商工会議所

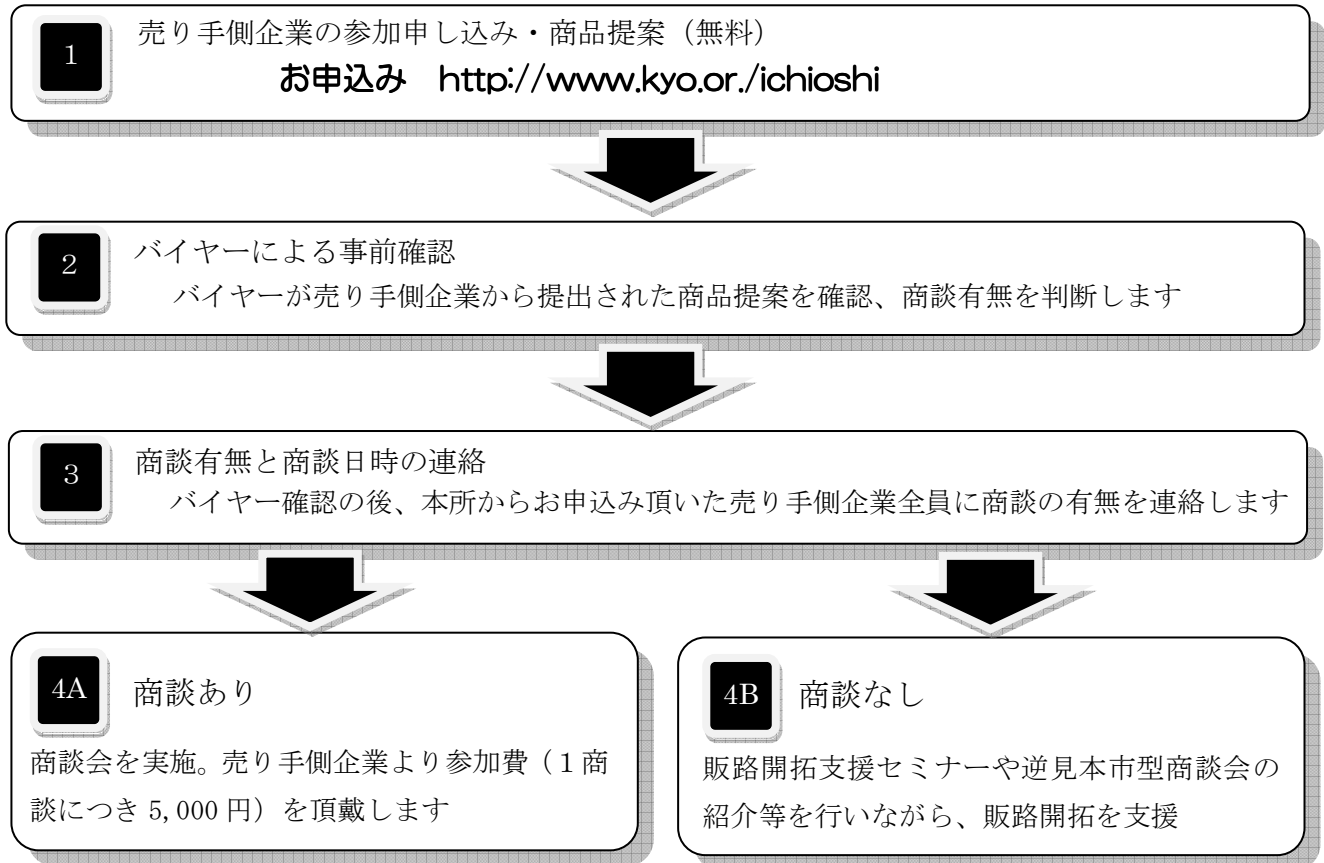
(募集対象) 商談分野に沿った商品を製造または取り扱う本所会員企業  
※申込みの流れは裏面参照

(商談時間) 1商談につき30分

(参加費) 参加申し込み 無料 ※商談日程が組まれた際の参加費 1商談につき5,000円

(その他) 商談成約率の向上を図るため、「販路開拓支援セミナー」を実施(裏面参照)

## ■エントリーから、商談までの流れ



## ■販路開拓支援セミナー（主管：ファッション産業振興特別委員会）

販路開拓に取り組む中小企業を対象に、大手流通業等バイヤーとの商談を円滑に行うための基礎知識やノウハウを学べるセミナーを開催することで、商談成約率の向上を図る。

日 時：平成 27 年 7 月 1 日（水） 14:00～16:00

場 所：本所教室（2F）

講 演：短い時間でキメル！商談を成約に導くための5つの法則

講師 株式会社コスモ経営 代表取締役 大間 清浩 氏

参加費：無料

定 員：100 名

### [参考] 京のイチ押し商品売り込み商談会（逆見本市型）

売り手側企業が参加バイヤーと自由に商談ができる商談会。事前マッチングを行わないため、売り手側企業にとって必ず商談ができるのが特徴。異なるタイプの商談会を開催することで、会員企業の販路開拓活動を幅広くサポートする。

日 時：平成 28 年 1 月 28 日（木） 13:00～17:00

場 所：みやこめっせ

参加費：本所会員 3,000 円 京都府内商工会議所会員 4,000 円 一般 8,000 円

定 員：200 社（300 名） バイヤー数：30 社程度

# 第7回 知恵ビジネス プランコンテスト



知恵産業のまち・京都の推進  
京都商工会議所

主催：京都商工会議所



京都産業育成コンソーシアム

知恵をカタチに顧客を創造!

公募期間

平成  
27年

9月29日(火)～10月29日(木)

17時  
必着

認定特典

「経営支援員×専門家」によるハンズオン支援

## 知恵ビジネスプランコンテストとは？

知恵ビジネスプランコンテストは、強みを活かした知恵によって中小企業が顧客に新たな価値を提供しようとするビジネスプランを公募し、専門家等による様々な角度からの審査・評価を通じて、「知恵ビジネス」として認定・公表するものです。認定を受けた企業には、きめこまかなハンズオン支援を継続的に実施し、専門家との連携、行政の施策活用等も図りながら、認定プランの実行・実現、“顧客創造”を支援します。

認定プランに  
対する支援例

経営戦略・マーケティング

広報・プロモート

交流・マッチング

資金・助成金申請支援

対外的評価の向上

## 「ハンズオン支援」を受けて～コンテスト認定企業の声～



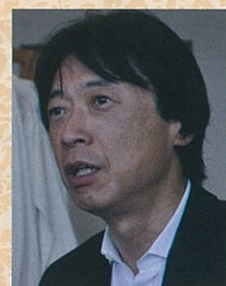
補助金申請の  
支援を受けて  
開発がスムーズに

(株)坂製作所  
代表取締役 坂 栄孝さん

プランの認定を受けたことで、認知度が高まり、引き合い件数が増えましたが、更なる性能向上の依頼もたくさん頂きました。追加の開発には多額の費用がかかることから躊躇していたところ、支援員さんから補助金の紹介と申請書作成支援を受けて、補助金を獲得することが出来、資金繰りの心配なく追加開発を進めることが出来ました。今後は、この開発した製品を売上に繋げていきたいと思っています。

プレスリリース  
活用で効率的な  
広報活動が実現

大東寝具工業(株)  
代表取締役 大東 利幸さん



認知度向上が課題でしたが、プレス資料の作成支援や広報の場をセッティングいただいたおかげで、多くのメディアで紹介され、消費者への信頼につながりました。また、直営店だけで行っていたコンサルティングを他の販売チャネルでも実施したいと考えていたところ、支援員さんから新しいビジネスモデルについてアドバイス頂き、現在、その準備を進めています。自分たちだけでは想定できなかった目から鱗のアイデア、大変助かりました。



## 公募対象

京都の特性や企業独自の強みを活かしながら、新たな知恵によって自社ならではのビジネスモデルや技術、あるいは商品・サービスを開発し、“顧客創造”を実現するビジネスプラン。

### 例

- 地域の特性を活用した新商品の提供によって京都のブランド創出・発信につながる事業
- 伝統技術・産品等を活用して新たな生活文化の提供や商取引を実現する事業
- 自社や業界の課題に加えて、環境、少子・高齢社会等の社会課題も解決する事業
- 大学や行政機関等と連携して開発したユニークな新商品を提供する事業
- 農林漁業者との共同、または異なる分野の事業者が連携して新たな価値を創出する事業 等

### 独自の知恵で生まれたプランを幅広く認定(第6回認定プランより)



高齢者や幼児も「安心安全」な針を使わない縫い付け手芸キット

植村株式会社



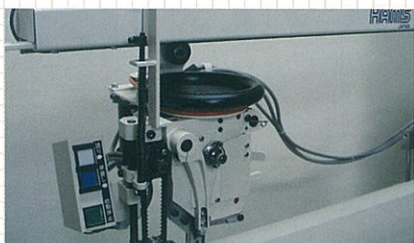
防犯カメラの録画をより確実に！  
“みまもりサービス あんしん君”

株式会社ケービデオ



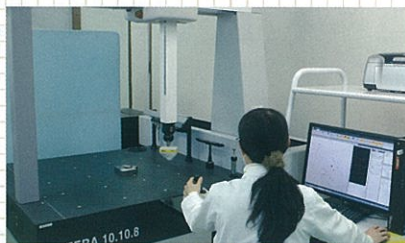
鋭剤製造用金型における業界初の製品生涯管理サービスの提供

株式会社ツー・ナイン・ジャパン



「縫う・通す・結ぶ」を応用した技術で熟練者不足の問題解決を提案

ハムス株式会社



3D データを活用したワークレス測定で、輸送コスト0(ゼロ)、短納期化を実現

プロニクス株式会社



バリアフリー京町家でもてなす「京都ユニバーサルツーリズムサービス」

有限会社ワックジャパン

## 応募資格

京都府内に活動拠点を置き、京都商工会議所の経営支援を通じて、認定プランの実行・実現が見込まれる中小企業者(法人・個人事業者)

## 審査基準

- ✓ 知恵の使いどころが **巧み**  
(独自性、競合優位性等)
- ✓ 知恵の使いどころが与える **インパクト**  
(社会性、顧客創造力等)
- ✓ 知恵ビジネスの **実現性**  
(事業計画の熟度、市場適合性、必要な経営資源の確保等)

## 応募方法

- 所定の「申請書」(必須)、「会社概要」「商品説明資料」等(任意)をEメールにて下記アドレス宛にお送りください。  
**bmpj@kyo.or.jp**
- 申請書や詳しい情報は下記ホームページから入手してください。  
**http://www.kyo.or.jp/chie/contest/**

第7回知恵ビジネスプランコンテスト

検索

クリック!

**平成27年10月29日(木)17時必着**

受信確認メールをもって応募完了とします。

申請書作成支援に関するご相談等を随時受け付けております。

申請書作成に関しては、個別相談のほか、セミナーも開催致します。  
また、認定に至らなかった場合も、プランのブラッシュアップに関する相談を承っております。

お問い合わせ・応募先

京都商工会議所 中小企業経営支援センター 知恵産業推進室

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル ●担当：狩野・薦谷・牧田 ●電話：075-212-6470 ●e-mail：bmpj@kyo.or.jp